



確 認 事 項

法務省刑国第507号
外 亜 中 モ 第 5 号
平成20年11月21日

法務省刑事局国際課長 北 村

篤

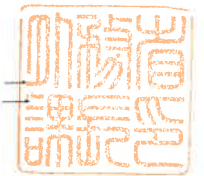


外務省アジア大洋州局
中国・モンゴル課長 垂

秀 夫



外務省国際法局条約課長 島 田 順



刑事に関する共助に関する日本国と中華人民共和国香港特別行政区との間の協定（以下「協定」という。）に関し、我が国が協定上の被請求締約者となる場合における法務省と外務省との関係について、法務省及び外務省は、下記のとおり確認する。

記

1. 協定第4条に基づき、我が国の中央当局たる法務大臣が中華人民共和国香港特別行政区（以下「香港」という。）の中央当局から共助の請求を受理した場合には、法務省は、当該共助の請求に当たり香港の中央当局が同条2に従って通報してきた事項を、外務省に対し速やかに通報するものとする。ただし、法務省は、外務省に通報できない事情が存すると判断した場合には、その旨を外務省に説明して、外務省と協議するものとする。

2. 外務省は、本確認事項1. にいう共助の請求に関し、外務省の所掌事務に関し必要と認める場合には、法務省に対し意見を述べることができる。
3. 我が国による共助の実施が我が国と香港との関係その他外交関係に影響を及ぼすことがあること等にかんがみ、法務省は、国際捜査共助等に関する法律又は本確認事項に基づき外務省が述べた意見と異なる措置をとる場合は、外務省と協議するものとする。
4. 外務省は、刑事に関する共助においては迅速性が極めて重要であることにかんがみ、法務省が行う共助の実施に係る支援その他の協定の実施に係る事務を速やかに行うものとする。



外務